

# 「宇宙への思い」

## 1 単元の目標と評価規準

目標：文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。	① 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ② 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	① すすんで三つの文章から自分の考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。

## 2 教材について

中・終わり			始め		
筆者③	筆者②	筆者①	2	1	段落
宇宙に生命の起源を求め	食品からつながる宇宙	宇宙からのながめが教えてくれること	話題提示	話題提示	役割・各題
果てしない年月をへて、命を今もつなぐ宇宙に目を向け、思いをはせることで、地球が存在することの尊さ、人と人が関係し合っていることの尊さを今いちど感じてもらえたらと思っている。	食品や生活用品というものでも広大な宇宙につながり、それらの開発や製造などにたずさわるさまざまな会社の多くの人たちがわくわくしながら活動してくれている。この宇宙のみりよきを、もっと多くの人たちに知ってほしいと願っている。	地球上の環境問題やいろいろな問題を解決するためには、立場や考えの違う人と理解し合うことが重要。どんな問題でも、力を合わせて解決できれば、地球と人類の未来は明るい。	宇宙にかかわる人々はどんなことに取り組んで、何を思っているのだろうか。	宇宙を知ることが、地球をそして人類を知ること。	文(要点)

本教材は、宇宙に関わる三者が、詩的な表現と科学的な視点を融合しながら、宇宙に対する人類の思いや問い掛けを描いている。児童にとっては、日常では味わえない壮大なスケールの世界観に触れることで、想像力や探究心が育まれる教材である。

### 3 単元計画(全6時間)

次	時	学習目標	学習活動
第一次	1	単元の学習の見通しをもつことができる。	○写真と題名から考えたことを話す。 ○「宇宙への思い」を読む。 ○「宇宙への思い」を読んだ感想をまとめる。
	2	三人の筆者の文章を読んで内容を整理する。	○筆者の経験や、考えを整理する。
第二次	3 【1組本時】 4・5	三人の筆者の文章を読んで筆者の主張を捉え、自分の考えをもつことができる。 第3時【宇宙からのながめが教えてくれること】 第4時【食品からつながる宇宙】 第5時【宇宙に生命の起源を求めて】	○「宇宙からのながめが教えてくれること」を読み、筆者の考えが述べられている段落に注目する。 ○自分の考えをもつ。
第三次	6 【2組本時】	三つの教材を読んで「自分の生き方」の考えの中心を明確にして、自分の考えをまとめる。	○友達と考えを伝え合う。 ○三つの文章を改めて読み直し、宇宙や地球の未来について考える。

### 4. 全力参加のための手立て

#### 話し合い

思考段階によって、ペア・グループ・学級など話しやすい人数に設定する。

→考えを広げ深める

#### 発問の工夫

ゆさぶりや問い返しなど児童の思考を広げ高める発問をする。

→思考の焦点化

#### 話型・文型の活用

話型・文型を視覚的に提示することで、自分の考えをまとめやすくする。

→自分の考えをもつ

#### 教材の工夫

本文の結論部分を抜いた全文プリントを使用する。

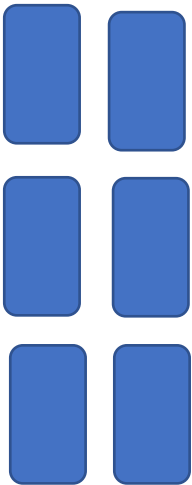



→筆者と自分の考えを比較する

## 5 本時の展開 (全6時間中の第6時) 2組

本時の目標: 三つの教材を読んで「自分の生き方」の考えの中心を明確にして、自分の考えをまとめることができる。

時間	学習活動	・指導上の工夫 ・▲個別の支援	評価規準 (評価方法)
導入 5分	1 本時のめあてを立てる。  2 三人の筆者のメッセージの共通点を話し合う。(全体) T:三人の筆者の考えで共通していることは何ですか? C:宇宙と地球を「人」がつないでいることです。	・【アウトプット型のめあて】にする。  ・まとめたカードで児童が違いを一目で比較できるようにする。 ・人に着目させることで自分事として考えられるようにする。 【焦点化】	
自分事として考え、伝え合おう			
展開1 10分	3 名札を使った選択をする。 T:一番共感した筆者は誰ですか?  4 話し合う。(少人数) T:考えのよいところや共感できたところを見付けましょう。	・自分の考えを明確にさせる。 【視覚化】【共有化】【Which型】  ・友達の考えの良さに気付けるようにする。 【共有化】	 伝えたい
展開2 20分	5 これからの自分の生き方を考える。(全体) T:筆者のメッセージを受けて自分のこれからの生き方についてどのように考えましたか? C:〇〇さんのメッセージを受けて、これから私たちは中学生になるので、初めて出会った新たな仲間でも理解し合える関係をつくっていきたいと考えました。  6 自分の考えをまとめる。(個人) C:中学生になって新たな友達をつくるに、相手を尊重したり協力し合ったりしてすてきな友達をつくってね。	・具体的な自分のこれからの姿を考えられるように、問い返しながら迫っていきけるようにする。 【焦点化】  ▲自分の身近な生活やこれからの将来と結び付くようにする。  ・「未来の自分へのメッセージ」としてカードに書かせる。 ▲書くことが苦手な児童には、テンプレの入った数種類のカードから選択できるようにする。 【教材の工夫】	 考えたい  文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 (カード・発言)
まとめ 10分	7 発表する。(全体) T:一人一人の考えを受け入れながら、自分の考えと比べてみましょう。	・友達の考えを認め合うようにする。【共有化】	

## 6 板書計画

<p>未来の自分へのメッセージ</p> 	<p>三人の考えで共通していること</p> <p>「宇宙」「地球」「人」</p>	<p><b>藪田さん</b></p> <p>果てしない年月をへて、命を今もつなく宇宙に目を向け、思いをはせることで、地球が存在することの尊さ、人と人が関係し合っていることの尊さを感じてほしい。</p> 	<p><b>込山さん</b></p> <p>この宇宙のみりよきを、もっと多くの人たちに知ってほしい。</p> 	<p><b>油井さん</b></p> <p>地球上のいろいろな課題を解決するためには、仲間との協力が必要で、理解し合うことが重要。</p> 	<p>めあて</p> <p>自分事として考え、伝え合おう</p>	<p>宇宙への思い</p>
---	--	--	--	---	----------------------------------	---------------

## 7 授業観察の視点

- (1) 本時のねらいが達成されていたか。そのための指導法が考えられていたかどうか。
- (2) 児童が全力参加する姿が見られていたかどうか。
- (3) 分かりやすく、考えを深めたり広げたりするために有効な発問であったか。